

胃 X 線（バリウム）検診受診の注意事項

受診者の皆様に安全な検診をお受けいただくために、下記の項に該当する方は、胃 X 線（バリウム）検診の受診を見合わせていただいております。また、当日医師の判断で検診を受診できない（ご希望に添えない）場合がありますので、ご承知おきください。

ご理解、ご協力をお願いいたします。

以下の項目に該当する方は、胃 X 線（バリウム）検診を受診できません。

【バリウム製剤の禁忌】

- ・バリウム過敏症（アレルギー）
- ・消化管穿孔（※1）・閉塞またはその疑い
- ・消化管急性出血

【既往歴等の中止】

- ・バリウム誤嚥の既往あり
- ・高血圧（180/110 mm Hg 以上）
- ・体重 130kg 以上
- ・現在、炎症性腸疾患または上部消化管（※2）疾患で治療中
- ・大腸憩室での憩室炎症状あり
- ・透析中、心不全、慢性腎疾患での水分制限あり
- ・糖尿病治療中で当日インスリンや内服薬を使用
- ・1年以内の発作（虚血性心疾患・脳血管障害）があった
- ・1年以内に手術既往あり
（消化管手術・心疾患手術・呼吸器疾患手術・頭部手術・運動障害手術）

【検査に伴う偶発症】

胃がん検診で使用するバリウム製剤については、排便困難による腸閉塞や消化管穿孔（※1）など、重篤な合併症をひきおこす危険があります。そのため、検診後はできるだけスムーズな排便を促す必要があります。水分を十分にとり、排便の状況をよく確認いただき、一両日中にバリウム便の排出がない場合や、腹痛などの症状が現れた場合は直ちに医療機関を受診ください。

※1 消化管穿孔…胃や十二指腸、小腸、大腸などの消化管に穴が開くこと

※2 上部消化管…食道、胃、十二指腸のこと